

どの子どもも輝く
笑顔いっぱい
とねがわ幼稚園

とね幼だより

よい頭・よい躰・強い体



平成30年6月

壁を乗り越え、切磋琢磨し、伸びる子ども達

園長 笛木 哲

新しい年度が始まり、2ヶ月がたちました。年長さんは、当番活動が始まり、リーダーとして活躍するなど幼稚園のお姉さん、お兄さんとしての自覚や責任が芽生えています。年中さんは、年少時に幼稚園の1年間を経験しているので、先の見通しがもてるでしょう。余裕をもって幼稚園の生活を楽しんでいます。年少さんは、保護者と離れる不安から泣き叫んでいた子ども達も笑顔で登園するなど親離れが進んでいます。また幼稚園のルールの中で生活ができるようになりつつあります。途中入園の子ども達も、自分の居場所を見つけたのでしょう。笑顔が増えているようです。

とはいうものの、些細なことからもめごとが起こり、口を出し、手を出し、泣いたり、泣かせたりする場面は数々あり、これからも保育者や保護者を悩ませ、心配させることでしょう。生まれて初めての集団生活（幼稚園）の中では、わがママが通る家庭とは違い、生まれ育った環境も考え方も違う子ども達が顔を突き合わせて生活しています。これまで経験したことのない困難が、突如として降りかかってきます。

しかし、多くのトラブルや困難を経験し乗り越えることで、子ども達は集団の中で生きる作法や知恵を学びます。少子化で親や大人の目の届きやすい今の時代は、親や大人は子どもに考えさせる前、失敗体験をさせる前に解決しようとしみます。しかし、苦しみながらも、切磋琢磨する環境の中で、自分自身で壁を乗り越え、折り合いをつけることができなければ、自立した人間になることはできません。それを学ぶ場が幼稚園です。

保育者の目 子どもの現実に寄り添い、子どもと共に

担任が毎日、園長に提出する保育記録に、『朝、一人の女の子が水たまりを見つけました。様子を見てみると、水たまりの中に入り、コンクリートを歩き、自分の足跡を見て楽しんでいました。早く部屋に入って、支度をして欲しい気持ちもありましたが、楽しそうな様子を見て、「くつの跡ができたね。」と一緒に話をしました。子どもにとって、水たまり一つも遊び道具なのです。全てを認めてあげることは難しいですが、その中の一部分でも受け止めていきたいなと思いました。』と綴られていました。

大人の時間軸からいったん離れ、子どもの時間の流れの中で、子ども目線で、子どもの気持ちにより添って思考し、共に動くと、子どものみずみずしい感性に触れることができます。保育をしていると、時間と追いかけてこの一日ですが、目の前にいる子どもに寄り添うことのできる とねがわ幼稚園の教師を自慢に思います。



避難訓練(地震を想定)で机の下にもぐる子ども達。真剣な顔。

園児が輝く(個性的に学ぶ) その時

		
<p>幼児の目線(イチゴ狩り) 視野が大人と違います。全体を見渡すことは難しくても、近くにあるおいしいそうなイチゴを見つけることは得意です。</p>	<p>世界の中心にいる幼児 変顔が大好きな幼児は、相手にどう思われるか気にしてしまう大人と違い、いつも最高の変顔を披露してくれます。</p>	<p>「作り方を教えて」 シロツメクサ集めに熱中する幼児に、保育者が花冠の作り方を教えました。頭に乗せるとお姫様になったようです。</p>
		
<p>将来は世界がもっと身近に 小学5・6年生は英語(読み、書きも学習する)の授業が始まりました。幼稚園はリズムよく、体全体で英語を楽しみます。</p>	<p>優しい手 優しい心 プランターに年長が種を蒔きました。「土を平らにしてね。優しくね。」と柔らかな手のひらをいっぱい広げて。</p>	<p>「園長先生を写真に撮る」 私のカメラで、私を撮ってもらいました。顔はありません。遊んでくれる大きな手と、エプロンがあればいいのでしょうか。</p>
		
<p>どっちが長い?どっちも長い 「学ぶ」の語源は「まねる」にあります。同じものを作る活動を通して、幼児は新たな経験をし、学びを広めます。</p>	<p>とねっこタイム(縦割り活動) 年長と年中が6つのグループで1年間、活動します。昔は地域で自然とできた子ども集団を意図的に仕組みます。</p>	<p>大好きなお母さんへ 園外保育でかけた平成の森公園の芝や雑草を丁寧に集め、ポケットに詰め込みました。「ママ、喜ぶかな!」</p>

園長自慢 年少児の会話が、聞き取れるように

幼児語が残り、他人との会話の経験の少ない年少児が、あるときは真剣に、あるときはにこやかに話しかけてきます。園長として恥ずかしく、申し訳ないのですが、彼らが何を言っているのか分からずに、どうしようもなく「うん、うん」と相づちを打っていただけの私です。2ヶ月が過ぎ、耳が慣れてきたのでしょうか。年少児のことばが少しだけ理解できるようになりました。(まだ5回に2回程度ですが)。

6月の歌は「かたつむり」です。お家でもお子さんと一緒に歌ってみてください。※個人面談アンケートで、「今月の歌を教えていただけると、子供と一緒に歌えるようになるかな」と、素敵なアイデアをいただきました。